2004年12月7日

鉄道博物館の施設及び展示車両について

鉄道博物館の建設につきましては、当社創立20周年記念事業のメインプロジェクトとして、本年2月16日に計画概要を発表しました。その後、当社及び財団法人東日本鉄道文化財団では、社外の様々なご意見・ご要望を承りながら、より魅力のあるプロジェクトとすべく、検討を進めてきましたが、このたび、日本貨物鉄道株式会社等のご協力も得て、鉄道博物館の施設及び展示車両がほぼ決まりましたので、お知らせします。

今後、さらに設計作業を進め、来年(2005年)冬頃に本体工事に着手し、2007年秋頃の開業を目指したいと考えています。また、展示内容については、今後、鉄道博物館ホームページ(<http://www.railway-museum.jp>)を通じて、適宜お知らせしていく予定です。

(1) 展示車両について(資料1)

1872年(明治5年)の新橋～横浜間開業から、1982年(昭和57年)の東北・上越新幹線開業に至るまでの鉄道の技術革新の歴史を物語るため、35両の実物車両(うち、御料車は6両)を展示します。できる限り多くの車両で車内を見学できるようにするほか、一部の車両では床下の機器がご覧になれるようにします。

(2) 施設の変更について(資料2～4)

社外の有識者からいただいたアドバイスのほか、さいたま市が実施した市民アンケートの結果、鉄道博物館ホームページに寄せられたさいたま市民の声、さらにはさいたま市としての要望事項などを踏まえて、施設の変更を実施しました。

(3) 社外からのご協力について

施設の整備及び運営に関して日本貨物鉄道株式会社から、展示車両に関して日本貨物鉄道株式会社のほか、茨城交通株式会社、津軽鉄道株式会社、キハ048保存会(車両保存ボランティア)から、それぞれご協力をいただけることになりました。

[資料1～4はこちら \[PDF/935KB\]](#)